

2010年7月17日(土) 一橋大学・国際交流セミナー

刊行記念 国際シンポジウム

モダンガールと 植民地的近代

東アジアにおける
帝国・資本・ジェンダー

今、モダンガールを
中国・日本・沖縄・朝鮮・台湾の
植民地的近代において問う！

刊行を記念して、著者全員参加によるスライド・ショー(第1部)、ならびにコメンテーター3名を招いての合評会(第2部)からなる国際シンポジウムを開きますので、議論にご参加ください。

- 日時 2010年7月17日(土) 11:00～17:00 (開場 10:30)
- 会場 一橋大学 東キャンパス第3研究館3階・研究会議室

第1部(11:00～12:30)

スライド・ショー

<東アジアにおけるモダンガールと植民地的近代>

司会 伊藤るり

- *バーバラ佐藤「モダンガール問題とは何か？」
- *スライド・ショー「東アジアにおけるモダンガールと植民地的近代」

足立真理子、タニ・バーロウ、
ヴェラ・マッキー、坂元ひろ子、
牟田和恵、小檜山ルイ、バーバラ佐藤、
伊藤るり、洪郁如、金恩実

第2部(14:00～17:00)

合評セッション

司会 坂元ひろ子

- *タニ・バーロウ「植民地的近代と東アジア」
(逐語通訳付)
- *合評セッション

コメンテーター

千田有紀(武蔵大学)
宋連玉(青山学院大学)
吉見俊哉(東京大学)

【参加について】 シンポジウムは参加無料。予約は不要ですが、下記サイトで、お手続きいただいた方を優先的にご案内いたします。申し込み期限は**7月15日(木) 24時**まで。

- サイトはこちら→ <http://an.to/moderngirl>

【問い合わせ先】 電子メール moderngirl@freeml.com

一橋大学・大学院社会学研究科 伊藤るり・坂元ひろ子研究室

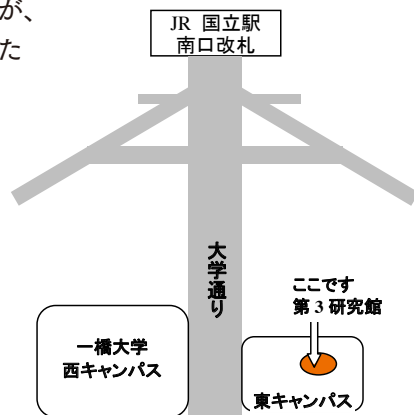
協賛

一橋大学大学院社会学研究科附属ジェンダー社会科学研究中心
(CGraSS, Hitotsubashi University)

ライス大学チャオ・アジア研究センター
(Chao Center for Asian Studies, Rice University)

後援

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター (IGS, Ochanomizu University) ほか



JR 中央線国立駅南口より徒歩7分

魅惑する「不在の女」
なぜ人はその像に惹きつけられるのか？

モダンガールと 植民地的近代

東アジアにおける帝国・資本・ジェンダー
伊藤るり 坂元ひろ子 タニ・E・バーロウ 編

中国・日本・沖縄・朝鮮・台湾の
植民地近代をジェンダーで
読み解く 10章

A5版・並製カバー・360頁 税込 3360円
ISBN978-4-00-025306-2

目次より

序論 東アジアにおけるモダンガールと植民地的近代

【Ⅰ 資本の欲望】

- 1 奢侈と資本とモダンガール 足立真理子（お茶の水女子大学）
- 2 買うということ タニ・E・バーロウ（ライス大学 [米国]）

【Ⅱ まなざしの政治】

- 3 宗主国のまなざし ヴェラ・マッキー（ウーロンゴン大学 [オーストラリア]）
- 4 漫画表象に見る上海モダンガール 坂元ひろ子（一橋大学）
- 5 新しい女・モガ・良妻賢母 牟田和恵（大阪大学）

【Ⅲ 帝国を生きる】

- 6 『婦人之友』における洋装化運動とモダンガール 小檜山ルイ（東京女子大学）
- 7 植民地的近代と消費者の欲望 バーバラ・H・佐藤（成蹊大学）
- 8 女の移動と植民地的近代 伊藤るり（一橋大学）
- 9 植民地台湾の「モダンガール」現象とファッションの政治化 洪郁如（一橋大学）
- 10 朝鮮の植民地知識人、羅蕙錫の近代性を問う 金恩実（梨花女子大学 [韓国]）

岩波書店